

都市大サロン用アブストラクト（2016年12月9日・金、30分程度、QA込み）

「それは武蔵工大からはじまった：サステナブル建築研究事始め」

野城智也（東京大学生産技術研究所・教授）

1991年に武蔵工業大学(現・東京都市大学)に奉職し開始した研究は、今日でいうところのサステナブル建築に関する研究の萌芽であった。

それはどのようにしてはじまったのか？ その背景として、当時の武蔵工業大学にはどのような雰囲気とスピリットが満ちていたのか？ そして、その雰囲気とスピリットは東京大学生産技術研究所にける活動と如何に重なり合っていたのか？

サステナブル建築研究に関する流れを例に、東京都市大と東京大学生産技術研究所の連携のあり方を考える。